

臨床研究に関する公開情報

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了承できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

脳死肺移植待機中の間質性肺炎患者における呼吸リハビリテーションの効果の後方指摘検討

[当院研究責任者]

部署名 中央リハビリテーション 氏名 平澤純

[研究の概要]

肺移植待機中の患者さんにとって、移植までの期間中は体力などの身体機能を保持し、生活の質（Quality of Life: QOL）を保ち続ける事は重要です。

間質性肺炎の患者さんが行う呼吸リハビリテーションは、体力や QOL を向上させることが分かっています。海外の報告では脳死肺移植待機中の患者さんに対する呼吸リハビリテーションで体力を維持・向上することが報告されています。一方、本邦の脳死肺移植を要する患者さんへの呼吸リハビリテーションの効果は不明です。

この研究では、当院における脳死肺移植待機中の間質性肺炎患者さんの体力や QOL における呼吸リハビリテーションの効果を調査します。これにより肺移植待機中の呼吸リハビリテーションの有効性構築の一助となるものと考えています。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん 2010年4月から2018年3月の間に脳死肺移植登録された方。
- 研究期間 倫理委員会承認後から2019年11月まで
- 利用するカルテ情報 身体・治療状況（身長・体重・入院の有無・使用薬剤・酸素療法状況・移植関連の期間）、運動耐容能力（6分間歩行試験、心肺運動負荷試験、定常運動負荷試験）、筋力（握力・膝伸展筋力・呼吸筋力）、肺機能検査

(FVC, DLCO など), 精神心理的項目 (QOL : SGRQ, 不安抑鬱 : HADs) および呼吸リハビリテーション実施の有無.

●情報の管理 情報は当院のみで利用します

[研究組織]

この研究は, 当院のみで実施されます.

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが, 利用する場合には, お名前, 住所など, 個人を直ちに判別できるような情報は削除します. また, 研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが, その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません.

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 中央リハビリテーション部 氏名 平澤純

電話 0561-82-5101